

福岡県

福岡市退職小学校長会

設立 昭和42年7月15日

1 沿革

昭和42年7月15日、結成総会を開催し、会則を制定し発足した。

厚生福祉活動として会員の趣味を交流する作品展の開催、学校支援のあり方を探る活動として「学校支援ボランティア活動」、会員間の情報共有のための広報誌発行等に取り組んでいる。

平成29年4月の定期総会において、福岡県退職校長会から分離独立を決定し、同年11月には、会創立50周年事業として「式典・祝賀会」を開催した。

平成30年4月福岡市退職小学校長会として独立し、独立時の会員数は、543名である。

2 活動方針

福岡市退職小学校長会会員相互の福利厚生の増進を図るとともに、諸事業の推進と会員の積極的な参画を通して、学校教育及び社会教育の振興に寄与する。

3 特色ある主な活動

(1) 作品展

本作品展は、絵画・工芸・写真・書など様々な趣味の出し合いの場になっている。会員相互の近況報告として、さらに教え子・保護者・市民の皆様方との交流の場にもなっている。



出展作品一部の紹介

(2) 施設文化探訪

生涯学習や地域文化歴史理解の一環として「施設文化探訪」を実施している。

(3) 現職校長会との交流会

各区・地区ごとに現職校長会との交流会を実施し、学校現場が抱えている教育課題や経営課題の情報交換を実施すると共に、会員相互の親睦を深めている。

(4) 学校支援ボランティア

退職校長の居住校区や近隣校区において、各学校の悩みや課題の解消に向けた手助けとなればという思いで、令和6年度に学校支援ボランティア人材リストを作成し、市内の全学校に配付し、退職校長の活用を呼びかけている。

(5) 広報委員会

広報誌「退職校長会だより」「会報（春風）」を発行し、退職校長会の活動や事業の情報提供に努めている。また、5年に一度の機関誌「芳信」により、会員の近況報告や情報の共有化に努めている。